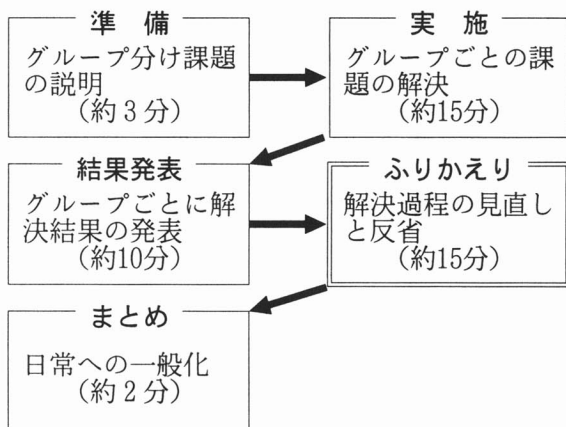


その一つの方法に、グループワーク・トレーニング（以下、GWT）があります。

（資料2）

GWTは、参加者が「リラックスした雰囲気の中で自分の姿に気づき、自ら態度、行動を変容させていく」ことを目的とし、「自ら進んで積極的に活動に参加し、責任を分担する協同者」を養成することをねらいとしています。

一単位時間の中でのGWTの流れは、おおよそ次のようになります。



この中で、特にふりかえりの段階が大切になります。トレーニングのねらいに合わせてふりかえりを行います。①自分に気付く ②他者、メンバーに気付く ③グループの状況に気付く ④グループの一員として適切で効果的な行動をとること、の4つがポイントです。

## 「あなたにプレゼント」

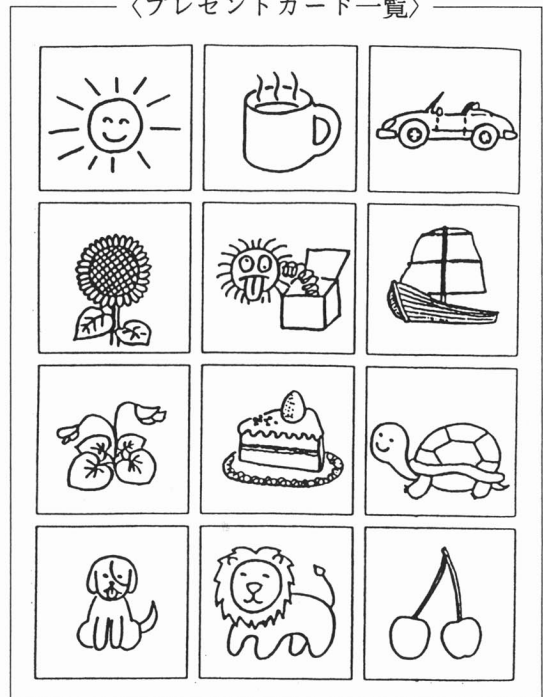
### 【ねらい】

子ども同士が相互に理解を深めながら受容感を味わう。

### 【準備するもの】

- ◇ プレゼントカード（資料2）
- ◇ 色鉛筆                      各自用意
- ◇ はさみ                      1人1つ

〈プレゼントカード一覧〉



### 【進め方と時間配分】

#### 1 準備・説明（3分）

- (1) 5～6人のグループになって座る。

「今日の学級活動は、グループのみんなともっと分かり合える学習をします。」

- (2) 〈プレゼントカード〉を配る

- (3) 〈プレゼントカード〉の記入方法を説明する。

「誰にどんなカードをあげるかを決めて、その理由をカードに書きましょう。そして、渡す人のイメージに合う色も塗ります。15分後にプレゼントを渡します。自分の欲しいものを前もって他の人に言ったり、相手の嫌がるようなことを書いてはいけません。」

#### 2 プレゼントの準備（15分）

- (1) グループ内で、それぞれが、グループの一人一人に合うカードを選び、用紙から切り離す。